

平成 15 年度ホタテガイ採苗情報 (第 9 報)

平成 15 年 7 月 18 日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿岸地方振興局水産部

「唐丹湾では、採苗器 1 袋当たり 15,700 個の付着」

1 稚貝の付着状況 (7/17、唐丹湾)

水深 10m 層に、4 月 17 日から 3 ヶ月間、5 月 1 日から 2.5 ヶ月間、5 月 14 日から 2 ヶ月間、5 月 29 日から 1.5 ヶ月間、6 月 12 日から 1 ヶ月間にわたり垂下した採苗器の付着状況を調べました。

付着数は、それぞれ 14,367 個/袋、15,731 個/袋、11,592 個/袋、1,861 個/袋、432 個/袋でした。

4 月 17 日および 5 月 1 日に投入した採苗器では、採苗数の非常に多かった平成 11 年の値 (付着数：11,500 個/袋) を大幅に上回り、調査開始以来の最多付着数を記録しています。

また、その付着稚貝は、殻長 5 mm 程度のものが主体で、例年に比べてサイズが小さめでした。付着稚貝数が非常に多く、既に成長が停滞しているものと推察されます。

なお、害敵生物は、5 月 14 日および 5 月 29 日に投入した採苗器に、コツムシがそれぞれ 1 個/袋、3 個/袋確認されただけでした。

2 付着盛期と採苗器の投入適期

これまでの調査結果から、今年の釜石地区における付着のピークは 5 月中旬で、採苗器の投入適期は 5 月上旬～中旬であったと考えられます。

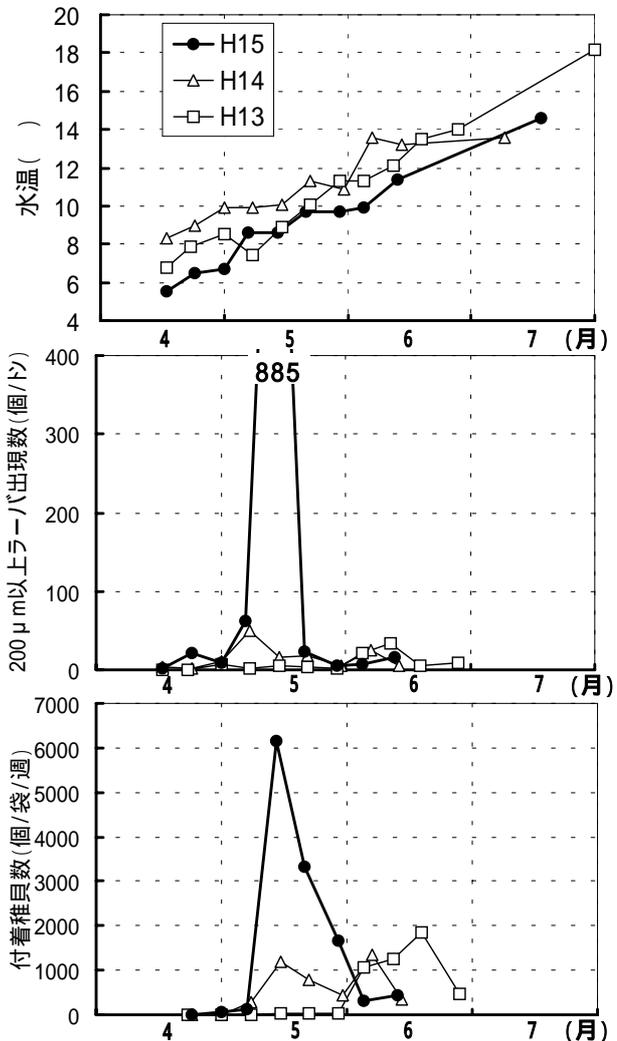


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラバ・付着稚貝の出現状況

唐丹湾のように付着稚貝数が多い地区では、採苗器内が過密状態になり、それによって成長が停滞したり、稚貝が弱る可能性もあります。

付着稚貝の数およびサイズを十分に把握した上で、早めに分散するようにしましょう。

また、稚貝の採取にあたっては、投入した採苗器全てから、できるだけ大きい個体を選ぶようにしましょう。

表 唐丹湾におけるホタテガイ稚貝の付着状況 (平成15年7月17日)

投入月日	付着稚貝(個/袋)						計
	1~2mm	~4mm	~6mm	~8mm	~10mm	10mm~	
4月17日	314	2,966	9,139	1,455	413	80	14,367
5月1日	160	2,293	9,435	2,938	850	55	15,731
5月14日	256	2,127	6,293	1,981	933	2	11,592
5月29日	357	1,189	312	2	0	0	1,861
6月12日	110	321	1	0	0	0	432

注 殻長1mm以上の個体について測定

なお、今期の採苗状況調査は、今回で終了となります。ご協力ありがとうございました。